

第4次野辺地町行財政改革大綱 実施計画

改革事項	(7)財政の安定化		ア 長期的な財政計画の策定	
改革項目	収支均衡予算編成の継続 歳入の確保、歳出の削減		担当部署	財政課 全課
年度計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
年度目標	評価及び実施計画 の改定	評価及び実施計画 の改定	評価及び実施計画 の改定	評価及び実施計画 の改定
実施概要	効果の検証、今後 の取組を決定。	効果の検証、今後 の取組を決定。	効果の検証、今後 の取組を決定。	効果の検証、今後 の取組を決定。
年度計画	平成28年度			
年度目標	評価及び実施計画の改定			
実施状況 及び 今後の 進行計画	現状では実施計画に計上している事業の中で、各課で必要と思われる事業についてはほぼほぼ全て予算要求されている(特別経費A及びB)。そのため、当初予算編成では財源が不足し、査定に時間を要している。(平成29年度当初予算編成要求時点約600,000千円の財源不足) H28～H32までの財政状況を推計した財政運営計画では今後財政状況は悪化していく方向であり、さらに長期的な推計(H28～H37)では財政調整基金が底をつき、多額な経費を要する事業はもちろんのこと、通常施策にも制限をかけざるを得ない状況となる見込みである。 さらに野辺地病院への繰出金の増額の問題等もあり、財政調整基金が底をつくのは早まるのではないかとと思われる。 町税や交付税が減少していくと見込まれる中で必要なのは歳出を削減することであり、大きな決断に迫られているのではないかとと思われる。			
問題点等	多額な経費を要する事業が多く予定されており、先送りはもちろんのこと、中止や規模縮小等の検討が必要			

年度計画	平成29年度
年度目標	評価及び実施計画の改定
実施状況 及び 今後の 進行計画	財政運営計画を策定 長期財政見通し(10年)を作成し、議会全員協議会で説明。 また、H30当初予算編成方針に係る各会議においてもこれを説明し、庁内周知と財政効率化への協力要請に努めた。 H35以降の収支均衡が危ぶまれる見通しとなっており、さらなる財政規律の保持に努める予定。
問題点等	財政効率化への取り組みは、職員の意識改革を行いながら進める必要がある。
年度計画	平成30年度
年度目標	評価及び実施計画の改定
実施状況 及び 今後の 進行計画	財政運営計画を策定 長期財政見通し(10年)を作成し、(新総合体育館に係る)議員説明会で説明。 また、H31当初予算編成方針に係る各会議においてもこれを説明し、庁内周知と財政効率化への協力要請に努めた。 当初予算編成方針におけるマイナスシーリング設定においては、前年度達成課を△5%から△4%に軽減する評価を行った。 H29決算に係る経常収支比率が101.0%となり、より一層の努力が必要。 さらなる財政規律の保持に努める予定。
問題点等	財政効率化への取り組みは、職員の意識改革を行いながら進める必要がある。